道　徳　学　習　指　導　案

北広島町立新庄小学校
指導者　教諭　武本圭子

１　日　時　平成 27 年６月 30 日(火)　第２校時
２　学　年　第３学年　14 名
３　主題名　自分の弱さに負けない心　１－(２)
４　ねらい　母にきっぱりと「どんなことにもまけない」と言ったときの清作の気持ちを考えることを通して，自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げようとする心情を養う。
５　資料名　「まけるものか～野口英世」(出典：「明るい心で　どうとく３」東京書籍)
６　主題設定の理由

本主題は，内容項目の１「主として自分自身に関すること」の（２)「自分でやろうと決めたことは，粘り強くやり遂げる」に当たる。この時期の児童は，何事にも関心を示し，意欲旺盛である。しかし，その一方で，ちょっとした失敗やつまずきがあるとたちまちやる気を失い，挫折する場面も見られる。また，困難に立ち向かうより，楽な方へ流れやすく，最初に設定した目標を到達できずに終わることも多い。この段階においては，あきらめず取り組むことの意義や，今より良くなりたいと願い，努力する姿について考えを深めることを通して，自分でやろうと決めたことを粘り強くやり遂げる精神を育てることが大切になると考え，本主題を設定した。

本学級の児童は，

〈略〉

本資料は，幼い時にやけどで左手の指がくっついてしまった清作が「てんぼう」とからかわれるのが嫌で学校に行かなくなってしまうが，母の言葉で自分の弱い心に気付き，からかいに負けず努力し，やがて野口英世という有名な学者になるという内容である。つらい気持ちを乗り越え，自分の弱い心と決別して努力を積み重ねていく清作の姿から，粘り強くやり遂げるためには，自分の弱い心に打ち勝とうとする構えが大切であることを実感できる資料である。

指導に当たっては，まず，野口英世の努力の人生を紹介したのちに資料を読むことで，「なぜそんなに頑張れるのか」という問題意識をもたせ，学習問題につなげる。展開においては，清作の葛藤に共感したり，困難に打ち勝とうと決心した時の心情を分析したりすることで，やろうと決めたことを粘り強くやり遂げる清作の精神的な強さの理由を追求していく。また，清作のつらい気持ちに共感させることを通して，野口英世のように偉大な功績を残した人でも，やり遂げるまでにはさまざまな葛藤や挫折を味わったことを理解させたい。終末においては，学習問題に対する自己の納得を探る段階において，児童自身が頑張っていることを想起させ，その時の自分と清作の思いを重ねて考えさせることで，自分の心の中にもある粘り強くやり遂げようとする気持ちに気付かせ，今後の発展につないでいきたい。

なお，道徳的な問題を追求させるために，以下の目的をもってワークシートを活用する。

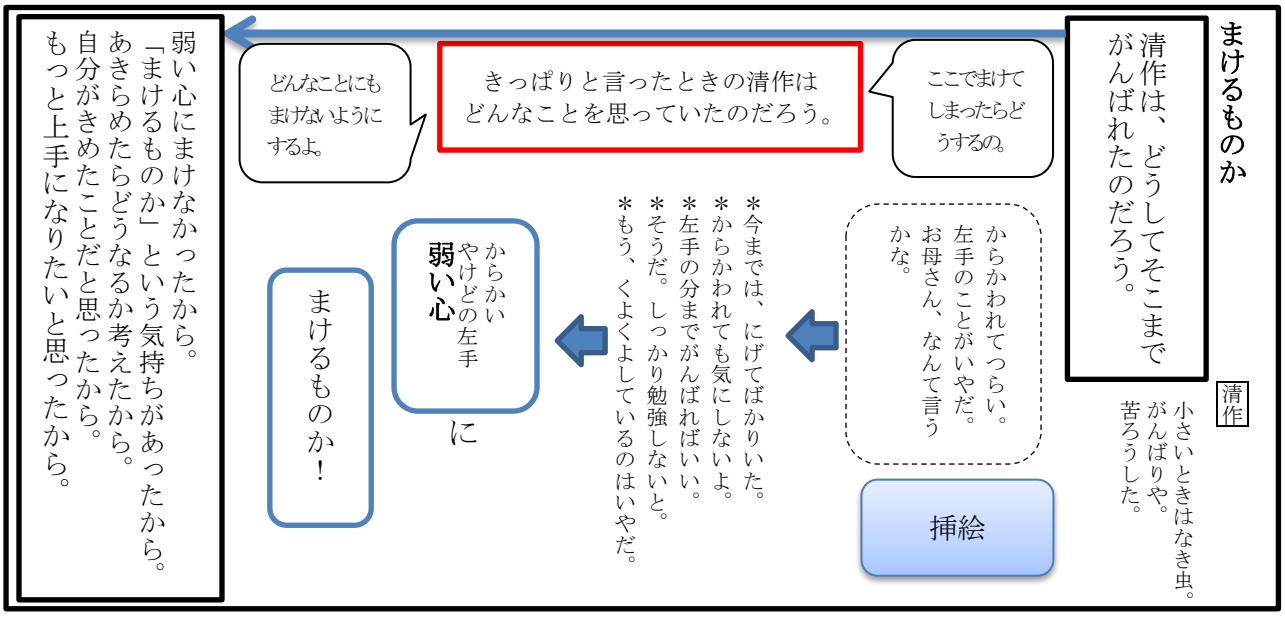
問題追求の流れ	**①問題の意識化**	自分の問題意識をもたせる。	見通し ↓ 振り返り
	②学習問題の明確化	１時間を貫くテーマとして把握させる。	
	③問題の追求	自分の考えを明確にして，自他の意見を比べさせる。	
	④問題に対する自己の納得	自己の納得を言葉で表現し，自分の考えを整理する。	
	⑤まとめと発展	自己を見つめ，今後の発展につなげる。	

7　学習指導過程

段階	学　習　活　動	主な発問と予想される児童の心の動き 【◎中心発問】	指導上の留意点 【※評価の観点（方法）】
導入	**1　問題の意識化** 教材との出会いから，問題を意識化する。	【補足説明】（千円札の肖像画を見せ）野口英世さんは，仲間から「日本人は寝ない」「実験マシーン」と言われるくらい粘り強く実験をして多くの難しい研究をやり遂げた。 ○清作と自分を比べると似ていますか，似ていませんか。理由も付けて言いましょう。 ・（似ている）自分もがんばりやだから。自分もいやなことがあった時，学校を休みたくなるから。 ・（似ていない）自分はあんなにがんばれないから。自分はすぐあきらめてしまうから。	**教材の中で生まれる問題意識** ○資料を読んで，清作と自分との相違点に気付かせ，問題意識をもたせる。
	2　学習問題の明確化 本時の学習問題を考える。 **教材テーマ**	○今日の学習問題を作りましょう。 ・「どうして，あきらめなかったのか」を考えたい。 ・「どうして，がんばれたのか」を考えたい ・「どうして，こんなに強い心になったのか」を考えたい。 清作は，どうしてそこまでがんばれたのだろう。	○児童の「似ていない」と感じる根拠から，「どうして○○なのか」という学習テーマを考えさせる。
展開	**3　問題の追求** 資料を読んで，清作の思いについて話し合う。	○林の中で何時間も一人で座っている時，清作はどんな気持ちでいるのでしょう。 ・からかわれてつらい。もういやだ。 ・左手のせいで，何もうまくできない。 ・お母さん，なんて思うかな。 ○清作は，何に「まけるものか」と言っているのでしょう。 ・からかい ・左手のしょうがい ・自分の弱い心 **◎「どんなことにもまけないようにするよ」ときっぱり言ったとき，清作は，どんなことを思っているのでしょう。** ・今のぼくはいやなことからにげているだけだ。 ・このままではだめだ。 ・もうくよくよしているのはいやだ。 ・自分は勉強をしっかりやらなければ。 ・からかわれても気にしなければいいんだ。 ・左手の分まで，ど力をしていこう。	○座っている清作のつらい気持ちに共感させて，自分に近づけて考えさせる。 ○児童の発言に対して「それに負けたらどうなるのだろうか。」と補助発問を行い，弱い心に打ち勝とうとすることの大切さに気付かせる。 ○「きっぱり」という言葉に着目させ，自分の弱さから逃げようとしていた気持ちとは決別しようとしている清作の心情を考えさせる。

終末	**4　問題に対する自己の納得** 設定した学習問題について自分なりに得た納得をワークシートに書く。	○清作はどうしてそこまでがんばれたのでしょう。 ・弱い心に負けなかったから。 ・「まけるものか」と自分をはげましたから。 ・あきらめたらどうなるか考えてみたから。 ・自分がきめたことだと思ったから。 ・もっと上手になりたいと思ったから。	○自分が頑張っていることを想起させ，その時の自分と清作の思いを重ねて考えさせる。
	5　まとめと発展 学んだ道徳的価値に照らして自己を見つめ，今後の発展についてワークシートに書く。	○清作の「まけるものか」の心は自分の心にもありますか。または，今まで「まけるものか」とがんばったことがありましたか。今日の振り返りを書きましょう。 ・マラソン大会の時，すごく苦しかったけど，「まけるものか」と思ってがんばった。今年もがんばりたい。 ・今まではめんどうになった時に，「まあいいや。」と思っていた。これからは今日の話を思い出してさい後までがんばってみようと思った。 ・自分にも弱い心があるけど，「まけるものか。」と思ってあきらめないようにしたい。	○ねらいとする道徳的価値に照らして，これまでの自分のことを想起させることで今後の発展につなぐ。 ※自分でやろうとしたことを粘り強くやり遂げていこうという気持ちがもてたか。**(ワークシート)**

8　板書計画



まけるものか

今日のテーマ

自分なりの答え

友だちの考え

自分の考えを書いてみよう

どんなことにもまけないようにするよ。

清作

にている　にていない

清作（せいさく）と自分をくらべてみよう

どんなところが？

これまで・これから

わけも書いてみよう。

どうしてそう思ったのかな？